

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、16～21℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の80%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の2倍（前年並み）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり14トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり55kgの水揚げで、前週の77%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり8.4トンの水揚げで、前週の2.6倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり32kgの水揚げで、前週の6倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり276kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり138kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり171kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり108kgの水揚げで、前週の1.9倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（4/9～4/13の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、切揚中。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～能登半島沖で操業。鳥取県西部（沖合船）4日延36隻、総計3,484箱、1航海最高216箱、平均96.8箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～30入。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>